土質ボーリング柱状図（標準貫入試験）

調　　査　　名　その他河川郷谷川通常砂防事業に伴う測量設計業務委託

事　業　・　工　事　名

調査目的及び調査対象　砂防　砂防

ボーリング名	BorNo.6	調査位置	広島県大竹市油見二丁目　地内			北緯	34° 13' 16.5000"
発注機関	広島県西部建設事務所　廿日市支所			調査期間	令和5年 6月26日～ 令和5年 6月27日	東経	132° 12' 52.3800"
調査業者名		主任技師		現場代理人		コア鑑定者		ボーリング責任者	
孔口標高	58.09m	角度	180° 上 90° 下 0° 0°	方向	0°北 0° 270° 西 90° 東 180° 南	地盤勾配	0° 水平 0° 鉛直 90°	使用機種	試錐機	吉田鉄工所　YSO-02型
総削孔長	13.22m								エンジン	ヤンマーTF90M型	ポンプ	YBM　GP-5型

標尺(m)	標高(m)	深度(m)	現場土質名（模様）	現場土質名	地盤材料の工学的分類	色調	相対密度	相対稠度	記事	孔内水位／測定月日	標準貫入試験 深度—N値図	N値	深度(m)	100mm毎の打撃回数 0～100	100～200	200～300	打撃ごとの貫入量	50回の貫入量	自沈時の貫入量	試料採取 深度(m)	試料番号	採取方法	室内試験	削孔月日
1	56.89	1.20		礫混りシルト質砂		暗褐	rd2		崩積土 ・最上位は草木根混じえる黒褐の腐葉土 ・礫はφ50mm程度以下の中-粗礫が混入 ・基質は細-中粒砂から成るシルト質砂		0 10 20 30 40 50 60	7	1.15 1.45	2	2	3	7/300						
2												9	2.15 2.45	3	3	3	9/300						
3												15	3.15 3.45	4	5	6	15/300						
4												20	4.15 4.45	6	6	8	20/300						
5				花崗岩		褐灰			粗粒黒雲母花崗岩強風化土(DL) ・風化変質が進行し岩質は著しく軟質化 ・原岩組織はやや明瞭に残存 ・採取試料は土砂状、指圧で容易に凹む			27	5.15 5.45	8	9	10	27/300						6/26
6	52.09	6.00										31	6.15 6.45	10	11	10	31/300						
7	50.09	8.00		花崗岩		黄褐			粗粒黒雲母花崗岩風化土(DM) ・風化変質が進行し岩質は著しく軟質化 ・原岩組織は明瞭に残存 ・採取試料は土砂状、指圧で容易に凹む			36	7.15 7.45	10	11	15	36/300						
8	49.09	9.00		花崗岩		黄褐			粗粒黒雲母花崗岩強風化岩(DH) ・風化変質が進行し岩質は軟質化 ・やや岩芯を残す風化漸移帯相当の旧風化核残留部			50以上	8.15 8.42	13	20	17/70	50/270	270					
9	48.09	10.00		花崗岩		黄褐			粗粒黒雲母花崗岩風化土(DM) ・風化変質が進行し岩質は軟質化 ・採取試料は場所的に岩芯を残す			31	9.15 9.45	10	11	10	31/300						
10												50以上	10.15 10.27	42	8/20		50/120	120					
11												50以上	11.15 11.27	46	4/20		50/120	120					
12												50以上	12.15 12.25	50			50/100	100					
13	44.87	13.22		花崗岩		黄褐			粗粒黒雲母花崗岩強風化岩(DH) ・風化変質が進行し岩質は軟質化 ・原岩組織は明瞭に残存するも、長石の一部で粘土化進行 ・採取試料は場所的に岩芯を残すが、概ねでは土柱状を呈し指圧で容易に圧潰可能 ・深度方向に固結度を増し漸移的に硬質化			50以上	13.22 13.29	50			50/70	70					6/27
14																								
15																								
16																								
17																								
18																								
19																								